

(1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

幾春別川外地域部会

- 岩見沢市、美唄市、三笠市
新篠津村、月形町
- 札幌管区気象台
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 石狩振興局
- 札幌開発建設部

岩見沢市、美唄市、三笠市
新篠津村、月形町

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

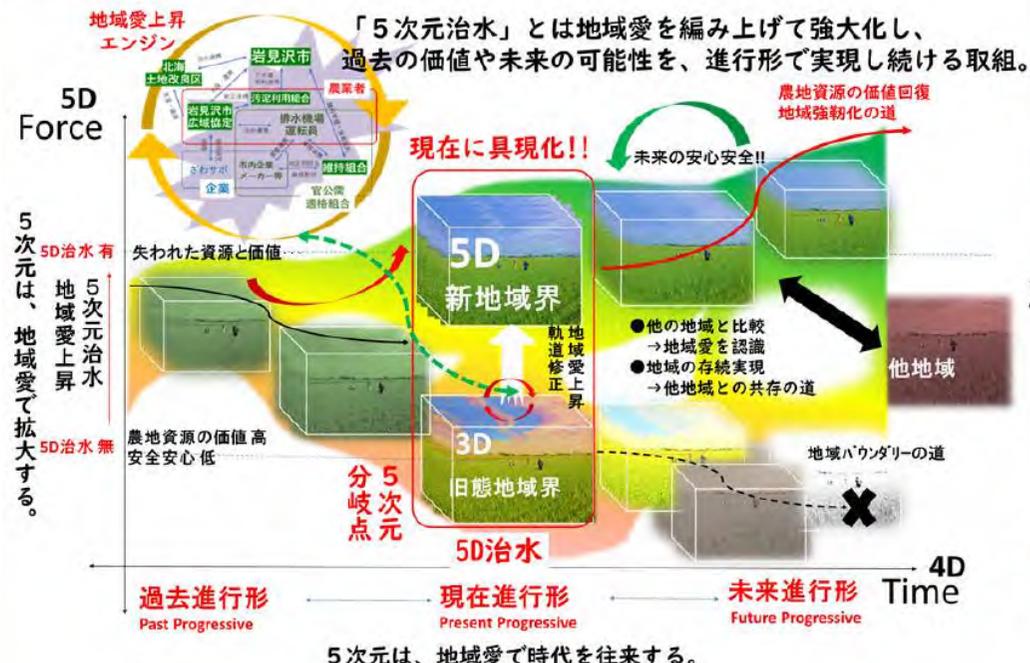
		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
岩見沢市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼダムに関する取り組み ・5次元治水対策による持続的で柔軟な地域強靱化の取り組み 		<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼダムに関する取り組み ・5次元治水対策による持続的で柔軟な地域強靱化の取り組み 	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への防災に関する出前講座の実施 ・防災チャレンジ(小中学生を対象とした防災教育)の実施 ・市内在住の防災関係有資格者(防災士、防災マスター)を対象とした、会議・研修の実施 	出前講座は内容等を事前に町会と打合せを実施している。 栗沢小学校・中学校で実施した防災チャレンジへの地域の町会・自治会役員等の参加。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への防災に関する出前講座の実施 ・防災チャレンジ(小中学生を対象とした防災教育)の実施 ・市民参加による防災訓練の実施 ・市内在住の防災関係有資格者(防災士、防災マスター)を対象とした、会議・研修の実施 	出前講座や市民参加による防災訓練については内容等を事前に町会と打合せを実施する。

【岩見沢市】流域治水に関する取組の実施状況

令和4年度 取組内容

5次元治水対策による持続的で柔軟な地域強靱化の取り組みが

『農林水産省 第6回インフラメンテナンス メンテナンス実施現場における工夫部門』で**優秀賞**を受賞



雇用を創出 地域を守る5名の組合事務局職員



運転員（農家）と連携した内水排除

取組概要

「5次元の治水対策」の概念を導入し、3次元（空間・農地資源）+1次元（時間軸、経年変化）+1次元（心理的安全性、生活の質、社会）を考慮した対策を行っている。

過去の価値を重んじつつ、現在から未来にわたって安全な住まいで暮らし、働き、活動に参加しながら、生き甲斐や地域の愛着が感じられる生活「持続的な質の高い生活（QOL）」を送ることが出来る地域として、柔軟な強靱化対策に取り組んでいる。

受賞者

岩見沢市
 岩見沢公共施設維持管理事業協同組合
 岩見沢市広域協定
 岩見沢地区汚泥利用組合
 北海土地改良区

問い合わせ先

岩見沢市 農政部 農業基盤整備課
 代表Tel 0126-23-4111

【岩見沢市】流域治水に関する取組の実施状況

■令和4年度 取組内容

出前講座の実施、防災チャレンジの実施、防災関係有資格者連絡会議の実施

○出前講座の実施（令和4年度12月末現在）

市民の防災意識向上のため、ハザードマップの見方や避難するタイミング、防災情報の伝達手段についての防災講話や、段ボールベット、段ボール間仕切りなどの避難所で使用する資機材の組立て体験を実施した。

	実施回数	参加人数
町会・自治会	3回	73人
小・中学校	5回	243人
企業・団体	10回	135人
計	18回	451人

○防災チャレンジの実施

児童生徒の災害に対する知識を深めるため、ハザードマップの見方や避難するタイミング、避難所の運営方法について講話を実施した。

また、体験型学習として段ボールベット、段ボール間仕切り、簡易トイレの組立て体験や避難所の設営・生活体験、消防による心肺蘇生訓練、応急手当訓練、応急担架作成・負傷者搬送訓練を実施した。

1. 上幌向中学校

日時：9月28日（水）13時20分～14時50分

会場：上幌向中学校

参加者：上幌向中学校1年生～3年生（41人）

2. 栗沢小学校・中学校

日時：9月29日（木）8時55分～12時00分

会場：栗沢小学校

参加者：栗沢小学校4年生～5年生（35人）

栗沢中学校1年生（21人）

保護者や町会・自治会役員等（9人）

3. 北村小学校・中学校

日時：11月22日（火）13時40分～15時20分

会場：北村小学校・中学校

参加者：北村小学校5年生～6年生（33人）

北村中学校1年生～3年生（35人）



出前講座（町会・自治会）



出前講座（企業・団体）



防災チャレンジ
（心肺蘇生訓練）



防災チャレンジ
（避難所設営・生活体験）

○防災関係有資格者連絡会議の実施

市内在住の防災士などの防災関係有資格者を対象に、地域の防災リーダーの育成及び防災関係有資格者と地域との連携強化を図るため、令和元年度より会議を実施している。

令和3年度からは、より地域の実情に合った活動とするため、市内を5ブロックに分け、地域別の会議を実施している。

令和4年度については、有資格者の防災に関する知識の向上やスキルアップを目的に気象予報士菅井貴子氏を講師に招き研修会を実施して防災活動に対する意識高揚を図った。



防災関係有資格者連絡会議
(研修会)

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
美唄市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通河川 7号川河床浚渫・雑木処理 <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通河川 10号川河床浚渫・雑木処理 ・川内川河床浚渫・雑木処理 ・奔美唄川河床浚渫・雑木処理 <p>田んぼダムに関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警報級の大雨予報時に通常のせき板による深水管理により排水抑制を図る 		<p>河床浚渫・雑木処理を継続して実施</p> <p>田んぼダムに関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警報級の大雨予報時に通常のせき板による深水管理により排水抑制を図る 	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ■防災訓練の実施(令和4年8月19日) ■1日防災学校の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中央小学校全校児童を対象 ※(コロナのため9月実施を延期(2月下旬実施検討中)) ■防災に関する出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・6/23 1団体、20人 ・7/28 1団体 16人 ・9/17,22 2団体 31人 ・10/1 1団体 11人 ※(コロナのため中止) ■コミュニティタイムラインの策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織4団体 ■地デジ広報による情報発信 	<p>コミュニティタイムラインの策定については参加自主防災組織の会長等から事前ヒアリングを実施。その後ワークショップを2回実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施 ・1日防災学校の実施 ・出前講座の実施 ・コミュニティタイムラインの策定支援 ・地デジ広報による情報発信 	<p>コミュニティタイムラインの策定については参加自主防災組織の会長等から事前ヒアリングを実施。その後ワークショップを2回実施。</p>

■令和4年度 取組内容

・R4年度においては、河川の浚渫、出前講座の実施、自主防災組織におけるコミュニティタイムラインの策定支援、防災ガイドブックの配布等により、「流域治水」の推進を図った。

河川の浚渫

7号川河床浚渫・雑木処理(21線～上流側)
【機械土砂掘削・雑木処理】



【着工前】

【完了】



7号川河床浚渫・雑木処理(21線～下流側)
【機械土砂掘削・雑木処理】



【着工前】

【完了】



防災教育の推進

出前講座(美唄市社会福祉協議会)

・社会福祉協議会が主催の「支え合い講座」のテーマが防災であったことから、市防災担当職員も講師として全3回参加し、防災授業とDIGを実施し、防災の知識を深めるとともに、防災意識の啓発に努めた。



出前講座(町内会)

・町内会住民を対象に出前講座を実施し、防災の知識を深め、地域防災力の向上に努めるとともに、自主防災組織の設立推進に取り組んだ。



自主防災組織の活動支援

コミュニティタイムラインの策定

- ・共助の取組として、水害時に住民が安全に避難できるよう、地域の防災上の現状や課題を踏まえ、コミュニティの対応方針や避難ルールを定めた「コミュニティタイムライン」の策定を支援している。
- ・4年度は、自主防災組織4団体が参加するワークショップを2回開催し、タイムラインを策定した。



防災情報の周知

防災ガイドブックの活用

- ・令和3年3月に作成した防災ガイドブック(ハザードマップ等を掲載)を転入者に配布しているほか、出前講座等に活用している。
- ・ホームページに掲載している。

地デジ広報(8チャンネル)の活用

- ・地デジ広報に市の防災情報を掲載することにより、インターネットを利用しない方でも、テレビで情報収集することができる。



令和5年度についても、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、出前講座等により防災教育を推進するとともに、コミュニティタイムラインの策定や防災情報を周知することにより、地域防災力を高めていく。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
三笠市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・令和2年度の萱野川、3年度の川内苗圃の沢川に引き続き、令和4年度は、三笠工業団地内を流れる一号川と調整池で浚渫を実施し、河川の流下能力の向上と一時貯留効果の向上を図る。		・引き続き河川の浚渫を予定。 R5実施河川～未定	
	被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画作成中		立地適正化計画計画作成中	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災展示の実施(ハザードマップの掲示及び防災備蓄品の展示) ・1日防災学校の実施(ハザードマップに関する授業) ・自主防災組織設立に向けての資料を町内会に配布 ・タイムラインの見直しを検討	今後実施する防災講習会で参加予定あり	・防災展示の継続実施(ハザードマップの掲示及び防災備蓄品の展示) ・1日防災学校の継続実施(ハザードマップに関する授業) ・自主防災組織等に対する防災講習会の継続実施 ・タイムラインの見直しを検討	防災講習会への参加を提案する

【三笠市】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

令和4年度 取組内容

①防災展示イベントの実施

実施日：令和4年9月3日

実施場所：イオンスーパーセンター三笠店（三笠市PRブース）

実施内容：来場者に対し、防災用備蓄品の展示、ハザードマップの説明、段ボールベッド体験、備蓄食料及び飲料水の配布を行った。（来場者249名）

②1日防災学習の実施

実施日：令和4年9月8日

実施場所：三笠市立三笠小学校

実施内容：地震を想定した避難訓練の後に、防災かるた（1年生）、段ボールベッドの組み立て訓練（3年生）、ハザードマップを活用した防災学習（5年生）を実施した。

①防災展示イベントの実施状況



②1日防災学習の実施状況



石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
新篠津村	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における防災教室 中学校:10/17(月) 全生徒を対象に避難所運営ゲーム(Doはぐ)及び段ボールベッド組立体験を実施 小学校:11/18(金) 小学校5年生を対象に避難所運営ゲーム(Doはぐ)及び段ボールベッド組立体験を実施 ・住民を対象とした防災訓練 11/9(水)第五自治区の住民を対象に避難訓練を実施 	防災訓練については、対象地域の自治区長と実施内容や方法等を検討した。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での防災教室の実施 ・行政及び関係機関、住民が連携した総合的な防災避難訓練を実施 	防災避難訓練の具体的な内容や開催方法等については、参加地域の自治区長及び関係者と打ち合わせを実施予定。

■令和4年度 取組内容

- ・小学校及び中学校において防災教室を実施
- ・第五自治区の住民を対象に防災避難訓練を実施

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・小学校は5年生(19名)を対象に2時限を使い避難所運営訓練(Doはぐ)と段ボールベッドの組立体験を実施。
- ・中学校は全校生徒による避難訓練終了後に、避難所運営訓練(Doはぐ)と段ボールベッドの組立体験を実施。
各防災教室を通じて、防災の知識を深めた。



- ・第五自治区において石狩川の氾濫を想定した防災避難訓練として、防災無線において、対象地域に避難指示を発令し、住民の避難訓練を実施。

避難訓練後に消防署員指導のもと火災避難訓練を実施し、マンホールトイレの組立体験や警察署員による防災講話を聴くなどして、防災意識の向上を図った。



令和5年度についても、小中学校の防災教室と地域住民の防災避難訓練を行う予定であり、特に地域住民の防災避難訓練については、行政及び関係機関、地域住民が連携した形で災害発生から避難所運営まで総合的な訓練を実施予定。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
月形町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ■町内教育施設に対して1日防災教室に協力 ・6月14日(火)月形高校で実施された1日防災学校に備蓄食料等を提供し防災意識向上に貢献 ・9月15日(木)月形小・中学校が計画する一日防災教室において防災講話等を実施予定 ・町内行政区に対する防災講話を予定 ■タイムライン見直しを予定 ・月形町タイムラインについて前年の読み合わせ事項を反映して内容を逐次修正 		<ul style="list-style-type: none"> ・町内教育施設及び町内行政区に対して防災講話及び防災に関する内容について継続的に実施 ・継続したタイムラインの修正 	

月形小学校4年生総合学習での防災講話等
11月21日



月形町内行政区在住高齢者に対する防災講話
10月27日



月形小・中学校合同防災訓練時の防災講話
9月15日



札幌管区气象台

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

	R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
気象台	<p>氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策</p> <p>【札幌管区気象台】</p>	<p>【札幌管区気象台】</p>
	<p>被害対象を減少させるための対策</p> <p>【札幌管区気象台】</p>	<p>【札幌管区気象台】</p>
	<p>被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</p> <p>【札幌管区気象台】</p> <p><全般の取り組み> (平時において)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象防災ワークショップの推進など、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を実施し、非常災害時にそれらの情報を有効に利用して、被害の軽減に役立てていただく。 <p>(非常災害時において)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適時・的確な防災気象情報の発表により、自治体や関係機関の防災対応を支援する。 ・災害発生時、または発生が見込まれる場合に、自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を速やかに派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。 ・事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探り、改善を図る。 <p><個別の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月から11月に、空知総合振興局主催で2回開催された「北海道地域防災マスター認定講習」に参画し、防災講座や図上訓練を通じて防災気象情報の利活用に関する啓発活動を実施した。 ・7月の大雨事例では、岩見沢市と三笠市に対し、防災対応支援のための能動的ホットラインを実施した。 ・台風や前線などによる大雨で災害が見込まれた3件の事例について、のべ4回にわたって北海道へJETTを派遣し、気象解説を実施した。また、関係機関からの電話での問い合わせに対し、出水期をとおしてのべ408回の解説を行った。 ・7月から8月に新篠津村・岩見沢市・美唄市・三笠市と懇談を実施し、その中で、防災気象情報の利活用に関する解説を行った。また、岩見沢市・美唄市・三笠市に対しては7月の大雨事例についての振り返りを実施した。 	<p>【札幌管区気象台】</p> <p>気象防災ワークショップの開催を通じた防災気象情報利活用の促進、JETT派遣等による自治体等の防災対応支援など、以下の取組を進める。</p> <p>(平時において)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象防災ワークショップの推進など、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を実施し、非常災害時にそれらの情報を有効に利用して、被害の軽減に役立てていただく。 <p>(非常災害時において)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適時・的確な防災気象情報の発表により、自治体や関係機関の防災対応を支援する。 ・災害発生時、または発生が見込まれる場合に、自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を速やかに派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。 ・事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探り、改善を図る。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

R4年度においては、【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】として、▽防災気象情報の利活用に関する普及・啓発活動、▽適時・的確な防災気象情報の発表、▽災害発生時、または発生が見込まれる場合の自治体等へのJETT(気象庁防災対応支援チーム)の派遣や能動的ホットラインによる防災対応支援、▽自治体等と協働での事例の振り返りによる業務へのフィードバック、などを実施した。

□令和4年度 取組状況 当協議会関連自治体等を対象として、ワークショップ等への参画:2回、懇談:23市町村、JETT派遣:4回、能動的ホットライン:2回、事例の振り返り:15回 を実施した。

「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務の強化

・地域毎の災害特性を踏まえた人材配置による「担当チーム」を編成。担当チームの常設により、市町村と緊密な連携関係を構築。

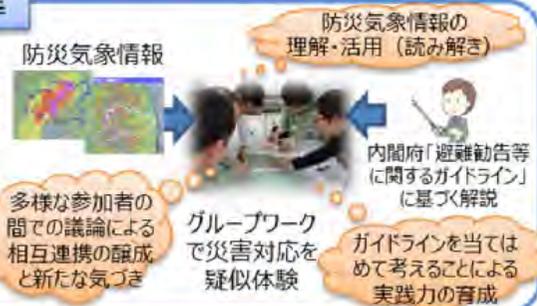
・「担当チーム」により、以下のような取組を実施。



気象防災ワークショップの推進

・市町村等の防災担当者が防災気象情報を活用して、避難情報の発令など災害発生時の市町村の防災対応を疑似体験。

・避難情報の迅速な発令検討判断や伝達等ができるように。



積極的なJETT派遣やホットラインの実施

・気象解説等のため積極的にJETTを派遣

・ホットラインによる自治体担当者や首長への助言を実施



「振り返り」の業務改善への活用

・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



■令和5年度 取組内容:【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】として、気象防災ワークショップの開催を通じた防災気象情報利活用の促進、JETT派遣等による自治体等の防災対応支援などをさらに推し進める。

空知森林管理署

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
空知森林 管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【治山対策】 ・西桂沢治山工事(溪間工1基 施工予定)	【森林整備】 ・引き続き夕張市外国有林で間伐等による森林整備を実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

令和4年度 取組内容

- ・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- ・令和4年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



森林整備事業(間伐)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



治山事業 溪間工実施

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
森林整備 センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

【森林整備センター】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

- 令和4年度 取組内容
 - ・ 森林整備 間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



間伐実施前

間伐実施後

次年度以降も計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部
・整備課
・東部耕地出張所

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
空知総合 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・東部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・東部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和4年度 取組内容

- ・ 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

農業用水利施設の活用

農業用水利施設の整備

農業用排水路



農業用ため池



水田の貯留機能向上

区画整理



整地工



畦畔築立

令和5年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課
- ・森林室

石狩振興局 産業振興課

- ・林務課

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
空知総合 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<p>【林務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美唄地区保安林緊急改良工事(美唄市)を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)を岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町にて実施 <p>【森林室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛陽町保育工事(岩見沢市)を実施 ・東美唄保育工事(美唄市)を実施 ・ポンベツ保育工事(月形町)を実施 ・幌内本沢地区保安林改良工事(三笠市)を実施 ・空知団地育林事業を岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町にて実施 	<p>【林務課】【森林室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
石狩 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・西原地区保育工事(新篠津村)を実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和4年度 取組内容

- ・北海道において治山事業により溪間工(治山ダム等)、山腹工(法枠工等)、森林整備(間伐、植栽等)の実施
- ・北海道、各市町村等において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



溪間工(治山ダム等)の実施状況



下刈の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

- ・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
- ・各市町村等において森林整備(間伐・植栽等)を計画的に実施

空知総合振興局
札幌建設管理部

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
空知総合 振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・利根別川の河道掘削等を実施 ・東利根別川の河道掘削等を実施 ・ポントネ川の河道掘削等を実施 ・美唄ダムの事前放流準備(未放流) ・札比内川砂防施設整備を実施 ・住吉の沢川砂防施設整備に向けた調査設計等	【建設管理部】 ・利根別川の河道掘削等を継続 ・東利根別川の河道掘削等を継続実施 ・ポントネ川の遊水地整備を実施 ・美唄ダムの事前放流 ・札比内川砂防施設整備を継続実施 ・住吉の沢川砂防施設整備に向けた調査設計等継続
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムラインの運用開始 当別川・美唄川	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

■令和4年度 取組内容

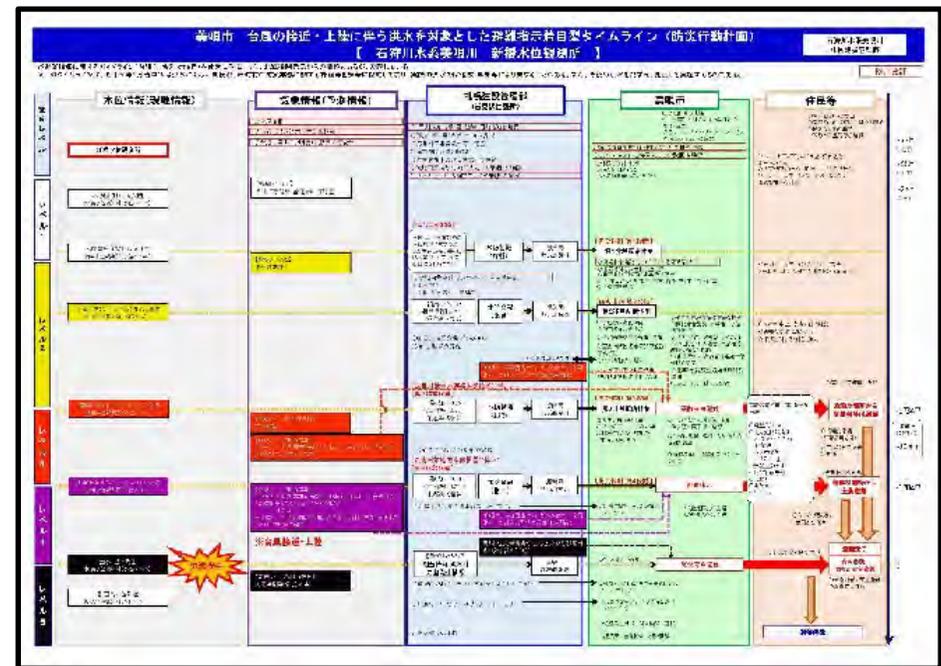
・ R4年度においては、継続実施していた利根別川、東利根別川、ポイントネ川の掘削等による河川整備、札比内川砂防施設整備を行い、当別川や美唄川のタイムラインの運用を開始し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



利根別川(掘削工)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



タイムラインの運用開始(試行)
※計2河川

利根別川、東利根別川の河川整備と札比内川砂防施設整備を継続実施予定、ポイントネ川の遊水地整備に着手予定。

札幌開発建設部

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
札幌開発建設部	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・石狩川河道掘削、石狩川堤防整備、北村遊水地整備、幾春別川総合開発事業、直轄管理ダムにおける事前放流等の実施・体制構築 等	引き続き令和4年度の取組を継続実施
	被害対象を減少させるための対策	・水害リスク情報(リスクマップ)の検討等	引き続き令和4年度の取組を継続実施
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・水防教育、防災意識の啓発活動 等	引き続き令和4年度の取組を継続実施

■令和4年度 取組内容

・ R4年度においては、石狩川の河道掘削・堤防整備、北村遊水地の整備、幾春別川総合開発事業、水害リスク(リスクマップ)の検討、幾春別川外地域部会の各市町村と重要水防箇所合同巡視を実施し、「流域治水」を推進。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



石狩川(河道掘削)



北村遊水地整備



重要水防箇所合同巡視(美唄市地区)

■R5年度取組予定

引き続き令和4年度の取組を継続実施。